

## 助成事業実施報告書

団体名 ネットワーク・市民アーカイブ

代表者・役職名 氏名 代表 町村敬志

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

市民活動資料センター「市民アーカイブ多摩」——持続可能な基盤づくりをめざして

## 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

多摩地域を中心とした市民活動資料の保存・公開をめざす「市民活動資料・情報センターをつくる会」(2006年設立)以来、地方自治体への委託から自前の館設立まで種々の可能性を探り、募金活動を開始した(2010年)。(N)グリーンサンクチュアリ悠(立川市)内の建物提供の申し出を受け、施設を改修した後(2013年)、新団体を設立し、資料館「市民アーカイブ多摩」を運営してきた。会員数 147名。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

市民活動資料センター「市民アーカイブ多摩」を持続的に維持するためのさらなる基盤づくりをめざす。このため、新着ミニコミの安定的整理に加え、未整理資料・新規受入資料の迅速正確な処理をめざし、施設整備・充実を図る。資料タイトル数と会員・来館者の増加を実現し、公開企画、他資料館の見学会などを実施する。経験共有のための刊行物準備を含め、積極的な広報により会員・担い手の勧誘を進め、持続可能な活動の基盤確立に取り組む。以上を通じて、情報提供を介した多摩地区における市民活動の「結節点」としての役割実践をめざす。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- \* ファイリング済みミニコミについて継続受入分を速やかに公開できるよう、入力・配架作業を行う。新規のミニコミについても別に配列・保存し、求めがあれば利用できるようにする。
- \* 資料館を広く紹介し、運営に直接携わる人材の育成にも役立たせるため、館の背景・歴史の共有や「ボランティア講習」にも役立つ冊子を作成する。
- \* 来館者の中からボランティアや運営に関わる人材を発掘し、育成する。
- \* 「アーカイブ通信」発行時に入会やボランティアの呼び掛けや資料寄贈依頼を行う。
- \* 「市民アーカイブ多摩」の活用する交流イベントとして、講師を招いて緑蔭トークを開催する(全4回)。
- \* シンポジウムや講演会を開催する。他の資料施設の見学会を主催する。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- \* 「市民アーカイブ多摩」については開館日数 71 日を維持し、来館者数 79 人という結果であった。
- \* データ入力数 4,187 点(総数 50,355 点)、新規ファイル作成数 69 タイトル(累計 1,836 タイトル)を実現できた。
- \* 緑蔭トーク計 4 回、現地訪問会 1 回、関連施設訪問 1 回、学習会 1 回を開催し、多くの交流機会を持った。
- \* 2019 年度の事業成果として、活動記録・紹介の冊子『ようこそ！市民アーカイブ多摩へ 市民活動の

記録を残す運動の歩み』(148 頁)を作成することができた。

\* 開館以来5年を経過し、そのことが新聞2紙で報道されるなど(2019.5.14 毎日新聞多摩版、2019.9.12 読売新聞多摩版)、多摩地区の市民活動資料館としての基盤を一定程度固めることができた。

#### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

プロジェクトの実施により、資料の収集・整理・公開・保管業務については、定期開館が維持され、作業のルーティン化とその共有により資料整理が更に進んだ。ただし人員不足のため、開館維持には困難が予想される。また保存資料の増加にともないスペースが不足してきており、対応を考える必要が増している。そのため組織基盤強化プロジェクトを実施し、プロジェクトの一環としてNPO 法人格の取得も含めた組織基盤の強化についての学習・情報共有を進めた。事務量増加などの課題を検討するとともに、市民活動の収集、保存、提供に取り組む活動の原点に立ち返り、人や資料との出会い、そしてその楽しさが実感できるような催しも企画していきたい。

#### 7. 参考資料

『ようこそ！市民アーカイブ多摩へ 市民活動の記録を残す運動の歩み』

参考資料あり ・ 特になし

# ようこそ！ 市民アーカイブ多摩へ

市民活動の記録を残す運動の歩み



ネットワーク・市民アーカイブ



---

## ようこそ！ 市民アーカイブ多摩へ 市民活動の記録を残す運動の歩み

2020年3月30日発行

編集：ネットワーク・市民アーカイブ出版プロジェクト

発行：ネットワーク・市民アーカイブ

tel: 042-540-1663 (事務局)

E-mail: [simin-siryo@nifty.com](mailto:simin-siryo@nifty.com)

[www.c-archive.jp](http://www.c-archive.jp)

〒190-0022 立川市錦町 3-1-28-301 (事務局)

---

分類1・2	ミニコミ名	発行団体	都道府県
97	ケン NPO 現代座 — 現代座	現代座	東京都
97	ココ アートのとびら	国立新美術館	東京都
97	ココ NFA J プログラム	国立映画アーカイブ (「東京国立近代美術館フィルムセンター」を変更)	東京都
97	コタルネこだいら	小平市文化振興財団	東京都
97	シユ 第●回 16ミリ映画をみる会	16ミリ映画をみる会	東京都
97	セイ 青年劇場	秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場	東京都
97	セイ 青年劇場通信	秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場	東京都
97	タチ 立川親と子のよい映画をみる会 ミニ通信	立川親と子のよい映画をみる会事務局	東京都
97	タチ 立川文化	立川市文化協会	東京都
97	タマ Cinema Bravo— TAMA 映画フォーラム会報	TAMA 映画フォーラム実行委員会	東京都
97	タマ たまには芝居	多摩演劇フェスティバル「たまには芝居」実行委員会	東京都
97	タマ TAMA 音楽フォーラム NEWS LETTER 活動報告	TAMA 音楽フォーラム	東京都
97	タマ TAMACO 一多摩子ども劇場広報誌—	多摩子ども劇場市川ひとみ	東京都
97	タマ パルテノン多摩 MUSEUM NEWS	多摩市文化振興財団 (パルテノン多摩)	東京都
97	タマ 多摩六都科学館ニュースocketニュース	多摩六都科学館	東京都
97	トウ NFC CALENDAR	国立映画アーカイブ (「東京国立近代美術館フィルムセンター」を変更)	東京都
97	トウ アート・ニュース・トーキョー ART NEWS TOKYO	東京都歴史文化財団	東京都
97	トウ 音脈	東京文化会館	東京都
97	トキ ドキュメンタリー映画会 人間の手	ドキュメンタリー映画会 人間の手	東京都
97	トコ info mart インフォ・マート	所沢市文化振興事業団	埼玉県
97	ニホ 週刊 うたごえ新聞	日本のうたごえ全国協議会うたごえ新聞社	東京都
97	ニホ 婦れ 自然へ アルク	日本万歩クラブ	東京都
97	ハル パルテノン多摩 News	多摩市文化振興財団 (パルテノン多摩)	東京都
97	フチ 府中市美術館だより	府中市美術館	東京都
97	フチ 府中の森芸術劇場	府中文化振興財団 府中の森芸術劇場	東京都
97	フル 古居みずえドキュメンタリー映画支援の会通信	古居みずえドキュメンタリー映画支援の会	東京都
97	フン 文京区立森鷗外記念館 NEWS	文京区立森鷗外記念館	東京都

97	ヤマ デイリー・ニュース / Daily Bulletin	山形国際ドキュメンタリー映画祭	山形県
99	文学		
99	サン かなたのひと	山参会	宮崎県
99	シキ 四季歩	四季歩会	
99	マチ 連句通信 風時計	町田市民文学館「こまぼらんど」	東京都
99	ヨコ 京浜詩派	横浜詩人会議	神奈川県
99	ヨコ 詩のパンフ	横浜詩人会議「京浜詩派」	神奈川県



## ◎会員募集中

と一緒に、市民活動資料を未来につなげてください。  
寄付も募集しています。

### ◇会員 (年会費)

正会員 1口 6,000円 (総会議決権あり)  
賛助会員 1口 3,000円

※団体会員は2口からお願いします。30歳以下会員割引あり。  
※会員の方には『アーカイブ通信』や催し案内などをお送りします。

◇入金先 ゆうちょ銀行 振替口座 (口座名:市民アーカイブ)  
00120-9-729226

※他金融機関からの振込用口座番号

〇一九 (ゼロイチキュー) 店 (019) 当座 0729226

### ■謝辞

本冊子の作成にあたって、林治代さん・林喜代三さんからのご寄付と公益信託オラクル有志の会ボランティア基金の助成金を活用させていただきました。心より感謝を申し上げます。

### ■編集後記

- ・15年足らずの歴史だけれど、忘却の彼方にあつたことが多々あり。実に多くの人の知恵と実践と思いで今があることを実感。運営委員で鬼籍に入られた五味正彦さん、道場親信さん、田中幹子さん、安東窓さんの思いを特に再確認した。(江)
- ・冊子が形になった。日々の開館業務の扶けとなるか、活動の指針になるだろうか、と思う。くわえて、いつかなされる歴史的な検証にも耐えうるか。冊子ができたらできたで、思案は尽きない。(杉)
- ・そして、これからも、生きる場において『市民活動の記録』に触れ、そここから響くモノフォニー、ポリフォニーを聴き、theyとともに共振し、いのちの多様性への理解と尊重のために学び合い、応答する環境をつくりながら生きる。(津)
- ・私たちの目の前にある膨大な記録の整理・検証作業は実に難儀した。ただ、本誌をまとめるにあたって、役に立ったのは紛れもなくこの記録であった。記録することの大切さを改めて体感した編集作業であった。(増)
- ・資料と会に関わってきたすべての方に感謝。迷いがあつた「アーカイブ」という名前ですが、つけてよかった!(町)